新

標

地元のおいしさについて、和やかなやりとりが交わされた「ポンケラ市場」

部と厚岸漁協で初日を迎え町内の干場が一面コンブで覆われた。

厚岸漁協の今年のサオマエコンブ漁は、10日から30日までの期間に3日間とした。解禁から約1週間はしけや雨、霧で漁に出られず、この日は同漁協から漁の権利を得た3

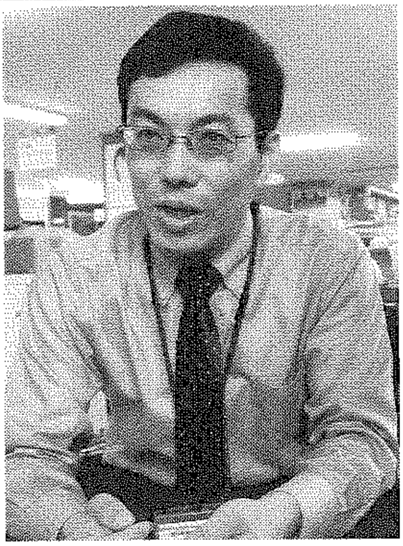
実が入ってくれればいいが」と心配する声が聞かれた。釧路管内のサオマエコンブ漁は今後、昆布森（釧路町）、浜中、散布（浜中町）でも始まり、各漁協が30日までに3－4日間操業する。

沿岸のコンブ漁は、7月初

家族総出でコンブ干し作業（斉

浜中代表で被災者支援

町職員・渡部さん　窓口業務に意欲


「被災地でしっかりと役割を果たしたい」と意欲をのぞかせる渡部さん

【浜中】町民課保険年金係の渡部直人係長(46)が、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた岩手県山田町に行政事務支援として派遣される。18日から27日まで11日間で、町職員の被災地派遣は渡部さんが初めて。「浜中町の代表として被災地の皆さんをしっかり支援したい」と話し17日浜中町を出発した。

派遣地の山田町は人口約1万8000人で、太平洋に面した漁業が主産業の町。春のサケ・マス漁や秋のサンマ漁で浜中漁協に船籍を持つ漁業者もおり、浜中町とは縁が深い。渡部さんは自治労枠での派遣だが、町では出張扱いとし公務で被災地を訪れる。

大震災から3カ月が経過したが、被災地では行政職員の不足で義援金給付が滞る状況が続いている。そんな中で渡部さんは、義援金支払いの受付やチェックを行う行政事務支援を行う予定。「事前情報によると、山田町は役場機能は残っていると聞く。不眠不休で働いてきた職員が、少しでも休めるよう効率よく窓口業務をこなしたい」と意欲をのぞかせる。

出発日の17日、町長室に渡部さんを迎えた松本博副町長は「被災地の皆さんをしっかり支援して、まずは無事で帰ってきてほしい」と激励した。さらに「できれば現地の情報をしっかりつかんで、浜中町の防災対策にも生かせる報告を待っている」と期待を寄せた。渡部さんは「被災者をしっかり支援した上で、今後の地域防災のためになる情報を意識して行動したい」と話していた。

（石川直樹）

着地型旅行を商品化

ツーリズムてしかが株主総会

【弟子屈】着地型旅行を手掛ける地域密着型の旅行会社「ツーリズムてしかが」（川湯温泉2）が15日、株主総会を開き、2011年度事業計画案、定款変更議案などを可決、取締役を選任した。

定款変更では、営業力の充実と業務の円滑化を図るために、社長と専務（非常勤）の代表取締役2人態勢とした。また、監査役についても、会計、業務のチェック機能を強化するため、1人から2人に増員した。同日の株主総会終了後に行われた取締役会で、代表取締役社長には白石悠浩氏が再任、代表取締役専務には冨田恵氏を選任した。

2011年度の事業目標では、弟子屈町ならではの着地型旅行の商品化と教育旅行の充実、さらに、観光客と地域住民双方に信頼される「ワンストップ窓口」としての利便性向上などを

石社長は「今
事業が終了し
からは、文字
業運営をして
らない。てし
進協議会をは
機関と連携し
確立する」と
る。

釧路管内

くしろ
KUSHIRO

まちのニュースをお知らせください

釧路新聞社標茶支局
標茶町開運2丁目5番
TEL 015（485）3521
FAX 015（485）3678

本紙の釧路地方販売店

地区	販売店	電話
庶路	桐原店	℡5・2408
白糠	森田店	℡2・2435
音別	斉藤店	℡6・2530
鶴居	たんちょう機	℡64・2311
阿寒	吉田店	℡66・3451
布伏内	吉田店	℡69・2002
阿寒湖畔	八谷店	℡67・2662
別保	中森店	℡62・2948
遠矢	渡辺店	℡40・3642
昆布森	長根店	℡63・2472
上尾幌	板倉店	℡57・2046
尾幌	板倉店	℡56・2313
厚岸	平良木店	℡52・2252
霧多布	鳥居店	℡62・2046
浜中市街	更科店	℡64・2024
茶内	平塚店	℡65・2956
標茶	手塚店	℡485・1640
磯分内	清水店	℡486・2157
弟子屈	堀店	℡482・2283
川湯	松田店	℡483・2227
山花	藤原店	℡51・4022